

6月のほけんだより

アソカ保育園
看護師 瀬之口 育代

梅雨の季節がやってきました。天気の変りやすいこの時期は体調を崩しやすいので、十分に注意が必要です。衣服の調節にはいつも以上に気を配るようにしましょう。

5月の感染症は、アデノウィルス、ヘルパンギーナ、手足口病でした。



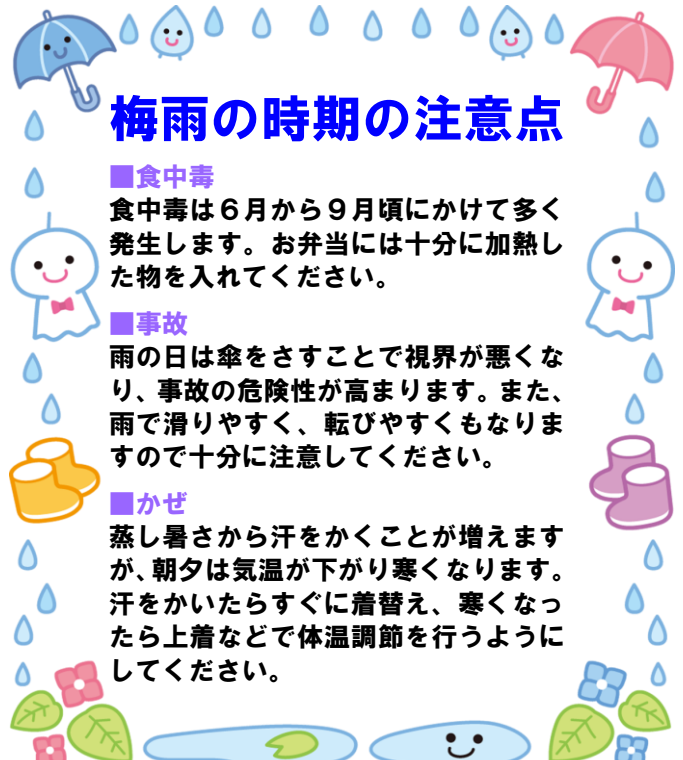
尿検査のお知らせ

6月1日(木)が提出日です。

- 尿検査は、朝起きてすぐの尿を採ってください。
- 前日は、ジュースなど甘いものを多量に摂取しないようにしてください。



6/6(火) 歯科検診



梅雨の時期の注意点

■食中毒

食中毒は6月から9月頃にかけて多く発生します。お弁当には十分に加熱した物を入れてください。

■事故

雨の日は傘をさすことで視界が悪くなり、事故の危険性が高まります。また、雨で滑りやすく、転びやすくなりますので十分に注意してください。

■かぜ

蒸し暑さから汗をかくことが増えますが、朝夕は気温が下がり寒くなります。汗をかいたらすぐに着替え、寒くなったら上着などで体温調節を行うようにしてください。

歯みがき中の事故を防ぐ3か条

歯みがき中に、歯ブラシで口の中やのどにけがをする事故を防ぐための3か条を紹介します。歯みがき中の子どもが大人に抱きつき、歯ブラシが刺さるといった事故もあります。

子どもが落ち着いた雰囲気の中で歯をみがけるよう気をつけてください。



① 歩かない

歯みがき中の事故で最も多いのが、歩いたり走ったりして転ぶケース。歯みがきをする場所を決めておきましょう。踏み台から転落する危険があるので、歯みがき中は座らせると安心です。



② 遊ばない

歯みがき中にほかのことをするのは危険です。事故の中には「寝転んで歯みがき」「ソファに立って歯みがき」など、歯みがきのように実際は遊びになっているケースが少なくありません。

③ 手を離さない

歯ブラシから手を離すのは、すでに歯みがき以外のことをしているサイン。「歯みがき中は歯ブラシをしっかり持って」と伝えましょう。

6月の休日急患診療機関

4日	ふくしまクリニック 46-5001	野辺病院 22-0153	大岐医院 57-2025	三州病院 22-0230	よしかわクリニック 23-9384	西浦医院 22-0715
11日	柳田病院 22-4862	都城在宅医療クリニック 58-9808	園田光正内科医院 38-5115	安藤胃腸科外科医院 39-2226	いのまた整形外科クリニック 36-6272	野田医院 24-8553
18日	児玉小児科 25-5570	藤元総合病院 22-1717	瀬ノ口醫院 25-5155	もりやま脳神経外科 21-6888	ながはま整形外科 46-7188	宮田眼科病院 22-1441
25日	原田医院 26-3330	田口循環器科・内科クリニック 24-0600	都城明生病院 38-1120	MKクリニック 51-6777	もちお姥原医院 21-5355	やの耳鼻咽喉科 27-5222